第 16 回 国際芥川龍之介学会（ISAS）大会　プログラム（2022.3.8 版）

International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies

大会テーマ：芥川龍之介生誕 130 周年—国境を越える芥川文学

期日：2022 年 3 月 19 日（土）研究発表、20 日（日）研究発表・シンポジウム
形態：専修大学神田キャンパス（東京都千代田区神田神保町 3-8）およびオンライン（Zoom）
会場：専修大学神田校舎 7 号館（大学院棟）763・764 教室
（https://www.senshu-u.ac.jp/about/campus/）
Zoom 参加情報は、参加申込み者に別途通知

大会全体総括　堀　竜一（新潟大学／日本・大会実行委員長）
大会進行　（第 1 日目）村山　麗（上智大学大学院／日本・大会実行委員）
（第 2 日目）木村　素子（上智大学大学院／日本・大会実行委員）

〔第 1 日目〕3 月 19 日（土）

13：00　開会
◇開会の辞（会長挨拶）　国際芥川龍之介学会会長　髙橋　龍夫（専修大学／日本）

【第Ⅰ部】　13：15～14：55　司会：奥野久美子（大阪市立大学／日本）
個人発表①　芥川龍之介「手帳六」考続貂
—「手帳六」の復元とフロイトについて—
章　瑋（筑波大学大学院／日本）
個人発表②　『申報』と芥川文学
謝　銀萍（南京師範大学中北学院／中国）

14：55～15：10　休憩

【第Ⅱ部】　15：10～16：50　司会：西山　康一（岡山大学／日本）
共同発表①　中国語を母語とする留学生は「羅生門」をどう読み、理解するのか
—心理学的・文学的アプローチによる分析—
柳本　大地（広島大学 森戸国際高等教育学院／日本）
フェレイロ・ポッセ、ダマソ（広島大学 森戸国際高等教育学院／日本）

〔第２日目〕３月 20 日（日）

【第Ⅰ部】　10：00～11：40　　司会：今野　哲（日本体育大学／日本）

個人発表③　芥川龍之介の三つの「鸚鵡」作品と「きりしとほろ上人伝」の四十雀について（仮）

松尾　清美（専修大学大学院研究生／日本）

個人発表④　芥川龍之介の「西方の人」論（仮）

林　薫植（慶南大学校／韓国）

11：40～13：00　昼食休憩

【第Ⅱ部】　13：00～16：40（14：40～15：00　休憩）　　進行：澤西　祐典

シンポジウム：国境を越える芥川文学―翻訳、異文化受容、世界文学性

鄒　　波（復旦大学／中国）

金　　孝順（高麗大学／韓国）

彭　　春陽（淡江大学／台湾）

澤西　祐典（龍谷大学／日本）

16：50　◇閉会の辞　　国際芥川龍之介学会副会長　　秦　　剛（北京外国語大学／中国）

＊会員以外の方の参加も歓迎いたします。

＊大会参加御希望の方は、本学会ホームページの専用フォームにてお申し込みください。

****

☆国際芥川龍之介学会（ISAS）

International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies

☆https://akutagawagakkai.web.fc2.com/index.html

会長　髙橋　龍夫

事務局　〒270-8555　千葉県松戸市新松戸３－２－1

流通経済大学　新松戸キャンパス１号館３階５号室　乾英治郎研究室

****